



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第87期の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

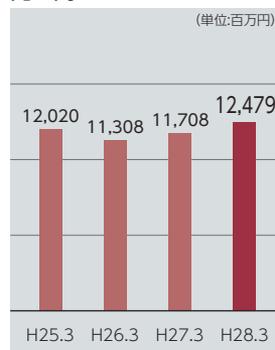
平成28年6月



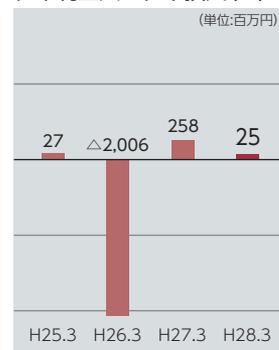
取締役社長 寶角 正明

財務ハイライト

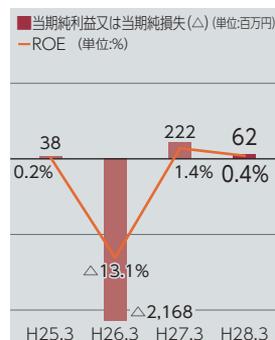
売上高



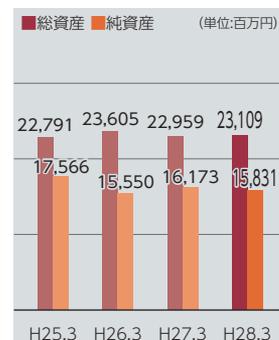
経常利益又は経常損失(△)



当期純利益又は当期純損失(△)・ROE*



総資産・純資産



*ROE: Return On Equityの略。自己資本利益率ともいい、当期純利益を、自己資本で除したものの。

第87期 株 主 通 信

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

 高田機工株式會社

証券コード: 5923

当事業年度の事業概況

当事業年度におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和継続等を背景に景気は緩やかな回復基調を辿りました。しかしながら年度後半には、株式市況・為替相場の急激な変動や新興国経済の減速等で、先行き不透明感が強まりました。

橋梁事業におきましては、新設鋼橋の発注量は前事業年度並みを確保したものの、発注者別に見ると国土交通省からの発注は大きく減少し、高速道路会社発注の大型案件が減少分を補完する構図となりました。鉄構事業では需要は堅調に推移いたしましたが、当社が得意とする超高層案件は、「首都圏一極集中」がより鮮明となり、当社の地元である関西圏での案件は極めて少ない状態が続きました。

このような状況のもとで、当社は橋梁事業における対象案件を絞った受注活動をさらに推し進め、各四半期において目標とする案件の受注を着実に積み上げてまいりました。鉄構事業におきましても採算性重視の基本方針は変更せず、関西圏を中心に、利益確保が見込まれる案件のみの受注を徹底いたしました。この結果、当事業年度の受注高は橋梁事業が143億円、鉄構事業が38億円と前事業年度を上回る成果を上げることができました。

今後の見通し

橋梁事業では新設鋼橋の発注量は当事業年度並みにとどまると予想されます。高速道路会社から大規模案件の発注や予告はあるものの、熊本地震による被害の復旧が優先され国土交通省案件の発注は時期が遅れると見られます。地域的には中部地区の発注が多いものの、遅れている東北復興案件の発注には不透明感が残ります。一方で、保全・中大規模改築工事の発注はさらに増加が見込まれており、当社も対応を急いでおります。

売上高	124億79百万円 前期比 6.6%増	▲
	橋梁事業 97億85百万円 前期比12.6%増 鉄構事業 26億94百万円 前期比10.7%減	
経常利益	25百万円 前期比 90.1%減	▼
当期純利益	62百万円 前期比 71.8%減	▼
受注高	182億7百万円 前期比 26.7%増	▲
	橋梁事業 143億29百万円 前期比17.5%増 鉄構事業 38億78百万円 前期比78.8%増	
受注残高	193億13百万円 前期比 42.2%増	▲
	橋梁事業 167億39百万円 前期比37.3%増 鉄構事業 25億74百万円 前期比85.1%増	

鉄構事業では期初は案件が少ないものの、夏以降は首都圏での大型再開発高層案件の着工が相次ぎ、需要の上積みが期待されます。地域的には「首都圏一極集中」の様相がさらに強まると予想されます。

当社にとって課題の多い事業環境が継続しますが、新年度の基本方針「事業環境に対応した受注と利益目標の達成」「社会に信頼される品質と安全の確保」「組織間の活性化を目指した人材育成」「保全事業の具体化と独自技術の推進」を軸として、全社一丸となり業績の拡大に取り組んでまいります。

橋梁事業

主な売上工事

東日本高速道路㈱の高谷JCT（右写真）・稲荷木橋、関東地方整備局の山崎地区高架橋、千葉県妙典橋上部工その3

主な受注工事

中日本高速道路㈱の向畑高架橋、滋賀県の瀬田川橋、首都高速道路㈱の青葉地区上部・橋脚（その2）工事、中部地方整備局の口ヶ島南高架橋、和歌山県の岩出橋



高谷ジャンクション橋南
(千葉県市川市 当社施工分4,085t)

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



鉄構事業

主な売上工事

岡谷スチール㈱の近畿大学東大阪キャンパス（右写真）、㈱大林組のY計画別館、日鉄住金物産㈱の六本木三丁目東地区

主な受注工事

岡谷スチール㈱の近畿大学東大阪キャンパス（右写真）、㈱大林組のY計画別館、大成建設㈱の日本医科大学付属病院・レッドウッド藤井寺



近畿大学東大阪キャンパスA棟シンボルタワー
(大阪府東大阪市 当社施工分946t)

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



株式の状況

(平成28年3月31日現在)

発行可能株式総数 65,600,000株

発行済株式の総数 22,375,865株

株主数 2,979名

大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	1,336	6.06
新日鐵住金株式会社	1,000	4.53
JFEスチール株式会社	915	4.15
株式会社奥村組	888	4.02
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	810	3.67
前尾和男	650	2.94
株式会社紀陽銀行	586	2.65
株式会社三井住友銀行	502	2.27
三井住友信託銀行株式会社	502	2.27
株式会社川金コアテック	500	2.26

(注)持株比率は、発行済株式の総数より自己株式(335千株)を控除して算出しています。

株価／出来高の推移



会社概要

(平成28年3月31日現在)

社名	高田機工株式会社
創業	大正10年(1921年)6月1日
設立	昭和7年(1932年)3月1日
資本金	51億7,871万円
代表者	取締役社長 寶角 正明
事業内容	▶道路橋、鉄道橋など鋼橋の設計・製作・架設 ▶ビル建築、学校体育館など鉄骨の設計・製作・架設 ▶鋼橋上部工の床版、舗装工事、標識、防護柵などの設置工事
本社	〒556-0011 大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階) 電話(06)6649-5100(代)
東京本社	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町3番2号(Daiwa小伝馬町ビル) 電話(03)3662-3581(代)
和歌山工場	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4700(代)
技術研究所	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4971
営業所	仙台・静岡・名古屋・和歌山・広島・福岡

役員

(平成28年6月28日現在)

代表取締役社長	寶角 正明
専務取締役執行役員	谷 俊 寛
常務取締役執行役員	嶋 崎 哲 太
常務取締役執行役員	梶 義 明
取締役執行役員	高 橋 裕
取締役執行役員	小 林 雄 紀
社外取締役	川 谷 充 郎
執行役員	蔭 山 昌 弘
執行役員	坂 根 潤 一
常勤監査役	坂 田 友 良
社外監査役	山 中 俊 廣
社外監査役	山 本 和 人

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	 0120-782-031
インターネットホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告 (http://www.takadakiko.com/) ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部

住所変更、配当金のお受け取り方法の指定・変更、単元未満株式の買取・買増

株主様の口座がある証券会社等にお申し出ください。
※特別口座に株式が記録されている場合は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

表紙写真
工事名称：(仮称) 妙典橋上部工その3
発注者：千葉県
構造形式：鋼6径間連続鋼床版箱桁橋
平成28年2月に行った「送り出し架設」(115m、666t)の様子

高田機工株式会社

大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階)

UD
FONT